

自己評価/保護者評価 総括表

(令和7年度2025.4.1～2026.3.31)

【事業所名】

ハンドレッド流山

【サービス種別】

放課後等デイサービス、児童発達支援

【自己評価実施日】

令和7年3月1日～令和7年4月15日

【保護者評価実施期間】

令和7年3月1日～令和7年4月15日

【職員参加人数】

常勤 4名

非常勤 1名

【保護者アンケート回収状況】

配布数 15件

回収数 7件

1. 自己評価の実施方法

全職員を対象に自己評価を実施するとともに、保護者アンケートを実施しました。集計結果について管理者及び児童発達支援管理責任者を中心に分析を行い、事業所の強みや課題を整理し、今後の改善方針について検討しました。

2. 事業所の強み・評価できる点

- ・利用児一人ひとりの特性や発達段階に応じた個別支援計画を作成し、計画に基づいた支援を実施しています。
- ・送迎時や連絡帳、面談等を通じて保護者との情報共有を継続的に行い、安心して利用できる環境づくりに努めています。
- ・毎日の申し送りや職員ミーティングを通して情報共有を行い、支援の統一を図っています。
- ・虐待防止、身体拘束適正化、感染症対策及び安全管理に関する研修を実施し、安心・安全な事業所運営に努めています。
- ・専門的支援や職員研修を継続し、支援の質の向上に取り組んでいます。

3. 課題

- ・地域との交流機会をさらに充実させる必要があります。
 - ・保護者へ事業所での支援内容や活動内容をより分かりやすく発信する必要があります。
 - ・災害時や緊急時を想定した訓練について、継続的な見直しを行う必要があります。
 - ・職員一人ひとりの専門性向上に向けた継続的な研修が必要です。
-

4. 今後の改善目標

- ・地域との連携を深め、地域資源を活用した活動機会を増やします。
 - ・保護者への情報発信を充実させ、事業所での支援内容がより伝わるよう改善します。
 - ・防災訓練や事故防止訓練を継続的に実施し、安全管理体制を強化します。
 - ・職員研修を継続的に実施し、支援技術及び専門性の向上を図ります。
 - ・支援記録や個別支援計画の質の向上を図り、より良いサービス提供に努めます。
-

5. 保護者から寄せられた主な意見

- ・水遊びなどを取り入れてほしい
 - ・子ども達が実際に学べる場があると嬉しいです。
 - ・就労に向けた支援をしてほしい。
-

6. 総括

令和7年度の自己評価及び保護者評価の結果を踏まえ、支援体制や職員間の情報共有について一定の成果を確認することができました。一方で、地域との連携や保護者への情報発信、職員の専門性向上など、継続的に取り組むべき課題も明らかとなりました。

今後も利用児一人ひとりの最善の利益を第一に考え、安全で安心できる支援環境を整えるとともに、保護者との信頼関係を大切にしながら、より質の高い支援の提供に努めてまいります。